

特集

改めて押さえない、SHD治療の今

企画・構成／白井伸一

識る

- 1 大動脈弁狭窄症における
“Lifetime management”をどう考えるか
- 2 器質性僧帽弁逆流に対する
MitraClipの現状と今後の展望
- 3 三尖弁閉鎖不全症を有する患者の
長期予後をどう考えるか
- 4 左心耳閉鎖は脳梗塞予防か、出血予防か
- 5 **Expertise** プレインハートチームをどう構築するか

診る

- 6 TAVIにおける伝導障害：
術前・術中にここを見る！
- 7 **Expertise** PCI after TAVI:VRを用いた
シミュレーションをどう活かすか
- 8 心房性僧帽弁閉鎖不全症に対する
MitraClipの術前strategyをどう考えるか
- 9 **Expertise** 三尖弁閉鎖不全症における
術前イメージングでどこを診るべきか

- 10 **Expertise** 卵円孔閉存症を有する人に発症した
奇異性脳塞栓症を的確に診断する

治す

- 11 Tav in Tavを活用するために何に注意すべきか
- 12 **Expertise** 僧帽弁閉鎖不全症治療：
今後どのようにデバイスを選択していくか
- 13 三尖弁閉鎖不全症に対する治療の再考：
今後の導入に向けて何に注意すべきか
- 14 Para-valvular leakage (PVL) 治療：
今後の導入に向けて何に注意すべきか

バックナンバー

Back Number

2024年3月号 LVADを理解し現状を知る

企画・構成／松宮護郎

識る

1. わが国におけるLVAD治療の歴史を語る
2. [Expertise]連続流ポンプの長所・短所を語る
3. これまでのエビデンスからLVADの適応を語る
4. J-MACS registryからLVAD 治療成績を語る

戸田宏一
梅木昭秀
佐藤琢真
小野 稔

診る

5. 重症心不全患者のLVAD適応：どう判断する？
6. LVAD長期補助中に起こる心臓合併症～どう対処する？～
7. LVAD装着後の管理：循環器内科医の役割とは？

塚本泰正
吉岡大輔
岩花東吾

8. LVAD装着患者を心エコーでどう評価する？ 風間信吾, 奥村貴裕
9. [Expertise]LVADの非生理学的せん断応力による
hemocompatibility への影響とその関連合併症 武富龍一, 齋木佳克

治す

10. LVADで左室を治す：bridge to recovery 大谷朋仁, 坂田泰史
11. LVADでどこまで臓器障害は改善するのか：bridge to candidacy 波多野 将
12. 心原性ショック患者をLVADへつなぐ：bridge to bridge 牛島智基, 塩瀬 明
13. わが国でもやっと始まったdestination therapy：現状と課題 細川弘一郎
14. [Expertise]小児の治療にLVADを活かす 平田康隆

2024年4月号 肺高血圧治療～今どこに進んでいるのか～

企画・構成／大郷 剛

識る

1. 肺高血圧症：疫学と歴史 田邊信宏
2. 診断基準の変更でPH診療はどう変わるのか？
～2022年ESC/ERSガイドライン改訂におけるPH新基準を踏まえて～

田村雄一

3. PAHにおける遺伝学的検査はPH診療を変えるか？
桃井瑞生, 平出貴裕, 片岡雅晴
4. 左心疾患とPHを合併する場合の診療はどうするか？
～心疾患合併PAHおよび2群PHの診療～
5. PH診療において右心機能評価をどう生かすか？ 島 秀起, 辻野一三

波多野 将

診る

6. 膠原病性PAHをできるだけ見逃さず、早期に診断するためには
7. 日常診療に潜むCTEPHを見逃さないコツ

安岡秀剛
足立史郎

8. 運動負荷右心カテーテルをPH診療にどう生かすか？ 伊波 巧
9. [Expertise]NO吸入薬をPH診療にどう生かすか？ 上田 仁

治す

10. 現状での最適なPAH治療とは？
～2022年ESC/ERSガイドライン改訂を踏まえて～ 杉村宏一郎
11. 呼吸器疾患とPHを合併する場合の治療はどうするか？
～PGI2吸入薬のエビデンスを踏まえて～ 杉浦寿彦
12. CTEPHにおける肺動脈バルーン形成術の適応と限界は？ 下川原裕人
13. 小児PH治療の特徴：疫学、診断の観点も含めて 土井庄三郎
14. [Expertise]PAHに対する新規治療アプローチーソタテルセプトー 眞田喬行
15. [Expertise]肺動脈除神経治療(PADN)とは 浅野遼太郎, 大郷 剛

〈連載〉心臓の解剖【知っておきたい知識ー疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学ー】
第29回 心エコー図検査に活かす心臓構造 井川 修

2024年5月号 循環器疾患に対する遺伝子診断と治療 Up to date

企画・構成／尾上健児

識る

1. 冠動脈疾患のポリジェニックスコア 黒澤 亮, 伊藤 薫
2. 不整脈と遺伝子の関連 牧山 武, 相澤卓範
3. 特発性心筋症と遺伝子の関連 森田啓行
4. 二次性心筋症を正しくマネジメントするための遺伝学的知識

吉田昌平, 藤野 陽

5. 胸部大動脈瘤・解離症のゲノム医療の現状と課題 武田憲文
6. 肺動脈性肺高血圧症の遺伝子変異と新規治療の展望 浅野遼太郎, 中岡良和

診る

7. 循環器診療における遺伝学的検査の使い方 久保 亨

8. 冠動脈疾患と家族性高コレステロール血症 多田隼人
9. 心筋症の遺伝子別診療の考え方 井上峻輔
10. [Expertise]シングルセル解析と循環器疾患 野村征太郎
11. [Expertise]アメリカにおける循環器遺伝診療事情 秋田敬太郎, 島田悠一

治す

12. 精度管理された臨床遺伝学的検査と
全国規模ゲノムコンソーシアム研究の連携による循環器ゲノム医療の推進
宮下洋平, 金岡幸嗣朗, 朝野仁裕
13. [Expertise]心筋症の遺伝子治療：
ベンチからベッドサイドへの最新の研究展開 脇本博子